

議案第47号

平成30年度川崎市公債管理特別会計予算

平成30年度川崎市の公債管理特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ219,464,795千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

(地方債)

第2条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表地方債」による。

平成30年 2月13日提出

川崎市長 福田 紀彦

第1表 歳入歳出予算

歳入

款	項	金額
1 財産収入		2,242,458 ^{千円}
	1 財産運用収入	2,242,458
2 繰入金		172,701,336
	1 基金繰入金	38,848,917
	2 他会計繰入金	133,852,419
3 繰越金		1
	1 繰越金	1
4 市債		44,521,000
	1 借換債	44,521,000
歳入合計		219,464,795

歳出

款	項	金額
1 公債費		216,047,260 ^{千円}
	1 公債費	216,047,260
2 諸支出金		3,415,535
	1 繰出金	3,415,535
3 予備費		2,000
	1 予備費	2,000
歳出合計		219,464,795

第 2 表 地 方 債

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
借換債	千円 44,521,000	銀行その他から普通貸借または証券発行（他の地方公共団体との共同発行を含む。）による。起債の時期は当該年度とする。	年 5.0% 以内 ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の年度における利率とする。	借入れの日から25カ年以内（据置期間を含む。）に償還する。ただし、市財政の都合により繰上償還、償還年限の短縮または本議決の範囲内で借換えすることができる。